資料２

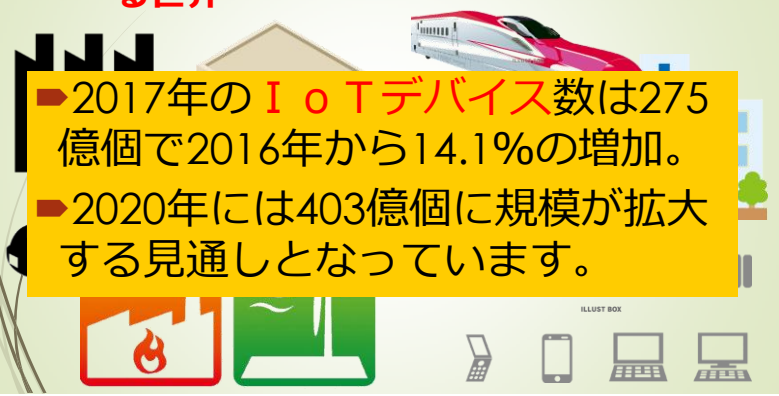
サイバーセキュリティに関する取組について

1

広島県警察本部生活安全部
サイバー犯罪対策課

インターネット～あらゆるものが繋がる世界

2

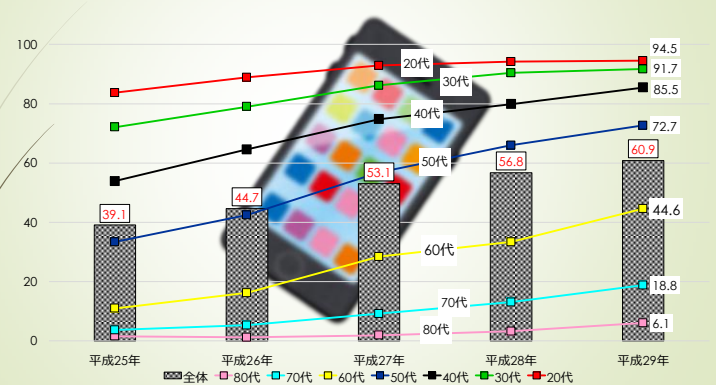


- 2017年のＩｏＴデバイス数は275億個で2016年から14.1%の増加。
- 2020年には403億個に規模が拡大する見通しとなっています。

スマートフォン個人保有率

※ 総務省「通信利用動向調査」

3



治安に関する世論調査（H29・内閣府）

4

【不安を感じる場所】

1位　インターネット空間（61.1%・前回3位）

2位　繁華街（54.3%・前回1位）

3位　路上（47.6%・前回2位）

5

治安に関する世論調査（H29・内閣府）

【不安を感じる犯罪】

1位　インターネット利用犯罪（60.7%・前回4位）

2位　特殊詐欺・悪質商法（50.2%・前回3位）

3位　侵入窃盗（50.1%・前回1位）

6

治安に関する世論調査（H29・内閣府）

【取り締まってほしい犯罪】

1位　インターネット利用犯罪（51.2%・前回8位）

2位　殺人等の凶悪犯罪（51.1%・前回1位）

3位　特殊詐欺・悪質商法（48.8%・前回5位）

7

広島県政世論調査結果（H29）

【日頃不安を感じている犯罪】

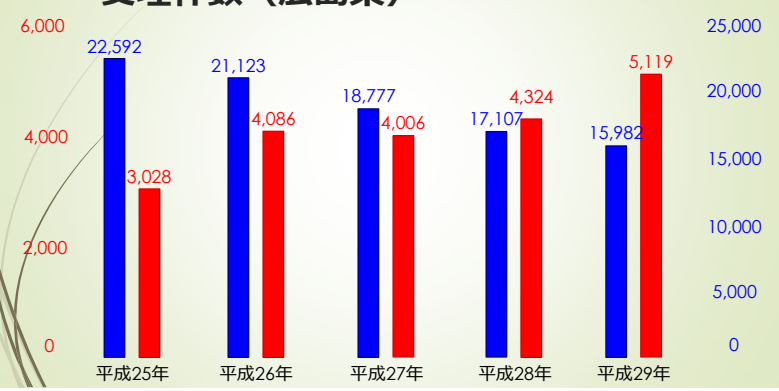
1位　侵入窃盗（64.4%・±0）

2位　特殊詐欺（45.6%・＋9.3）

3位　インターネット利用犯罪（32.7%・＋10.0）

8

刑法犯認知件数とサイバー犯罪相談受理件数（広島県）



9

情報セキュリティ10大脅威2018

※ 独立行政法人情報処理推進機構

順位	個　　人	昨年順位
1位	インターネットバンキングやクレジットカード情報等の不正利用	1位
2位	ランサムウェアによる被害	2位
3位	ネット上の誹謗・中傷	7位
4位	スマートフォンやスマートフォンアプリを狙った攻撃	3位
5位	ウェブサービスへの不正ログイン	4位
6位	ウェブサービスからの個人情報の窃取	6位
7位	情報モラル欠如に伴う犯罪の低年齢化	8位
8位	ワンクリック請求等の不当請求	5位
9位	IoT機器の不適切な管理	10位
10位	偽警告によるインターネット詐欺	ランク外

10

情報セキュリティ10大脅威2018

※ 独立行政法人情報処理推進機構

順位	組　　織	昨年順位
1位	標的型攻撃による被害	1位
2位	ランサムウェアによる被害	2位
3位	ビジネスメール詐欺による被害	ランク外
4位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	ランク外
5位	脅威に対応するためのセキュリティ人材の不足	ランク外
6位	ウェブサービスからの個人情報の窃取	3位
7位	IoT機器の脆弱性の顕在化	8位
8位	内部不正による情報漏えい	5位
9位	サービス妨害攻撃によるサービスの停止	4位
10位	犯罪のビジネス化（アンダーグラウンドサービス）	9位

11

サイバーセキュリティ対策５ヶ条

1 不審なメールを開かない

2 大切なデータは必ずバックアップ

3 ＯＳやソフトウェアは必ずアップデート

4 ソフトやアプリは信頼できる場所から
ダウンロードする

5 パスワードの使い回しをしない

12

サイバー犯罪の特徴

◎匿名性が高い

◎犯罪の痕跡が残りにくい

◎不特定多数の者に被害が及びやすい

◎距離的・時間的制約が少ない

13

サイバー犯罪対策の推進

産 学 官 の 連 携

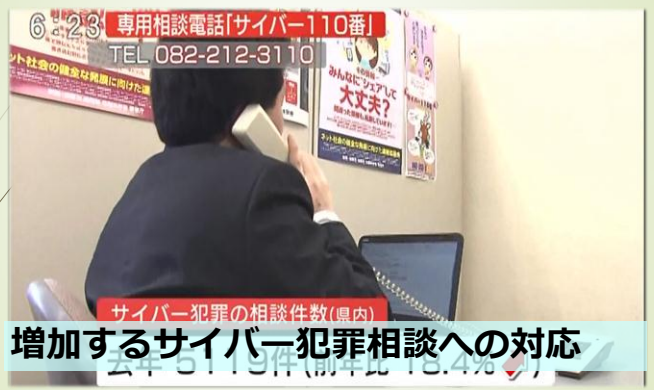
14

サイバー犯罪対策の推進

サイバーセキュリティ意識の醸成

15

サイバー犯罪対策の推進



増加するサイバー犯罪相談への対応

16

サイバー犯罪対策の推進

新たな取組の展開

Thank you for your attention.